



ボクのお師匠さま

DOJIN
R18
成人向け


18歳未満の
購入・閲覧禁止



一目見て抱いたのは
憧れだった


綺麗な弾幕

見惚れるほどの
洗練された体捌き




そしてそれらの前に
崩れ落ちて行く妖怪

大丈夫ですか？



弟子にして
下さいっ!!



その全てを見ていた僕は
こう言わずにはいれなかった

……で

と

何度断られようが
諦めない気でいたが

拍子抜けするほど
あっさりと
許可してくれた

それから辛く厳しい
修行の日々が始まる

筈だった――

し師匠……っ
そんなされたら……っ

私は師匠と呼ばれる程の
功夫を積んでいません
その呼び方は身に余ると
言ったじゃないですか

まったく
ちよくちよく忘れまますね
そんな子は――

いや実際修行をつけてもらい
へトへトの状態でこうなるから
正直かなりしんどくはあるけど

ああっ
美鈴さん…
もつとやさしく…っ

ええええ

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん





いい意気込みです

んん

んん

じゃあ
体力づくりの為に
もっと体を
動かさないとダメですね

こんなのいくらなんでも
おかしい事は
僕でも分かっている

でも僕のちんちんは
目の前の誘惑に
逆らえないでいる

我ながら情けない





どうしたんです？

美鈴さんのナカ
きつくて……っ

さっきから先っぽしか
入ってないですよ

にゅっ

ぬっ



これじゃ特訓に
ならないですよ

頑張りますっ

は……
はいっ

もっと力いっぱい
突いてください

アッ

アッ



美鈴さんのおまんこ
ヌルヌルで
気持ちいい…っ

おちんちん
溶けちゃそう

あっ
ああっ

あっ

足がくがくして
必死に動いてる♡



私のおまんこに
夢中になってて
かわいい♡

もっと
ちょうだい♡

おちんちん
きもちいい♡

子宮が
キュンキュンして
疼いちゃう♡

がんばれ
がんばれ♡

ほら早く
イって♡

気持ちよく
なっちゃお♡

はいっ
美鈴さんのおまんこで
イっちゃいますっ

あっ♡

あっ♡あっ♡あっ♡

びゅーっ♡
びゅーっ♡
中出ししちゃってる♡

あああああっ♡





いっぱい射精できて
気落ちよかったね♥



功夫を積みればこんな事にも
流されなくなるのだろうか



だけど師である美鈴さんは
流されるどころか
毎日もとめてくるし…



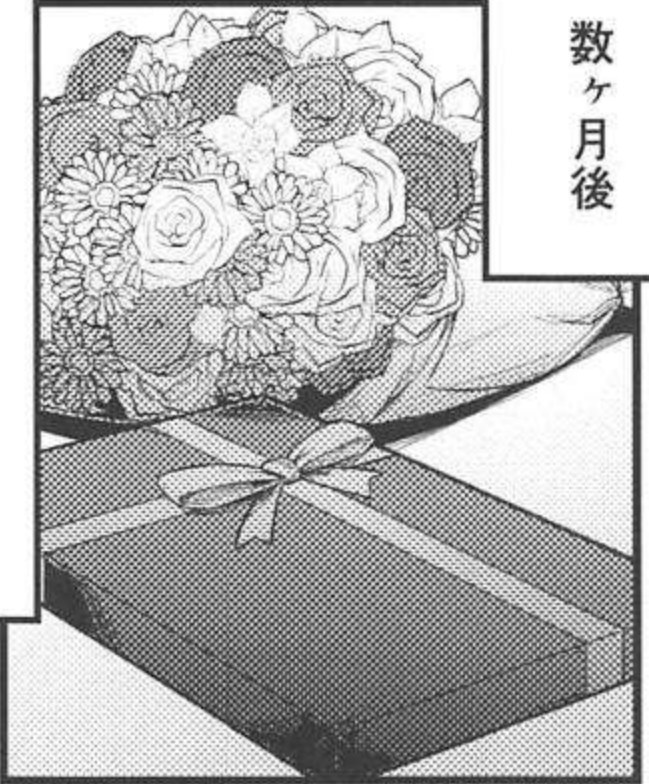
いつか僕も美鈴さんのように
なってしまうのだろうか

一休みしたら
もう一回しようね♥

は…はい♥

…将来が怖いです

数ヶ月後



今日は日頃お世話になっ
た美鈴さんに
少しでも恩返ししたくて
プレゼントを渡した

どんな反応をされるか
心配だったが美鈴さんは
とても喜んでくれた



これは私も何かお返しを
しなければいけないね
何かしてほしい事は
ありますか？

そんなんっ
だってこれは



じゃあ…
じゃあ



いいですよ♡

ほら何でも
してあげますから♡
Thank you

これからは
早く寝ましょう

え？

メイド長さんから
聞きました

屋間ちよくちよく
寝てしまつてると

これってやっぱり
いつも遅くまで
しているのが：

僕これ以上
美鈴さんを
困らせたくないです

いっぱいエッチ
出来なくなるのは
嫌だから断りたい
という感情と

自分の事を思いやってくれる
やさしさが嬉しくて
頼みを聞いてあげたい
感情がせめぎ合っている



わ：
わかりました

そして美鈴さんと僕は
眠りにつくことにな
った――



んだけど…

いつもはもっと
恥ずかしいことを
している筈なのに

なぜか自分の
心臓の音がうるさくて
なかなか眠れなかった

それから
数日して――

どうされたんですか
メイド長さん？

ああ貴方

いえここ最近
美鈴が真面目に
起きて働いているので…

いたい
なにか…

やはり美鈴さんの居眠りの
原因はあれだったんだ

それに鬼気迫るといふか
只ならぬ雰囲気なのよね

これで美鈴さんが
メイド長さんに
怒られる事もなくなる

！



ごめんね

今から
犯すから

へ？

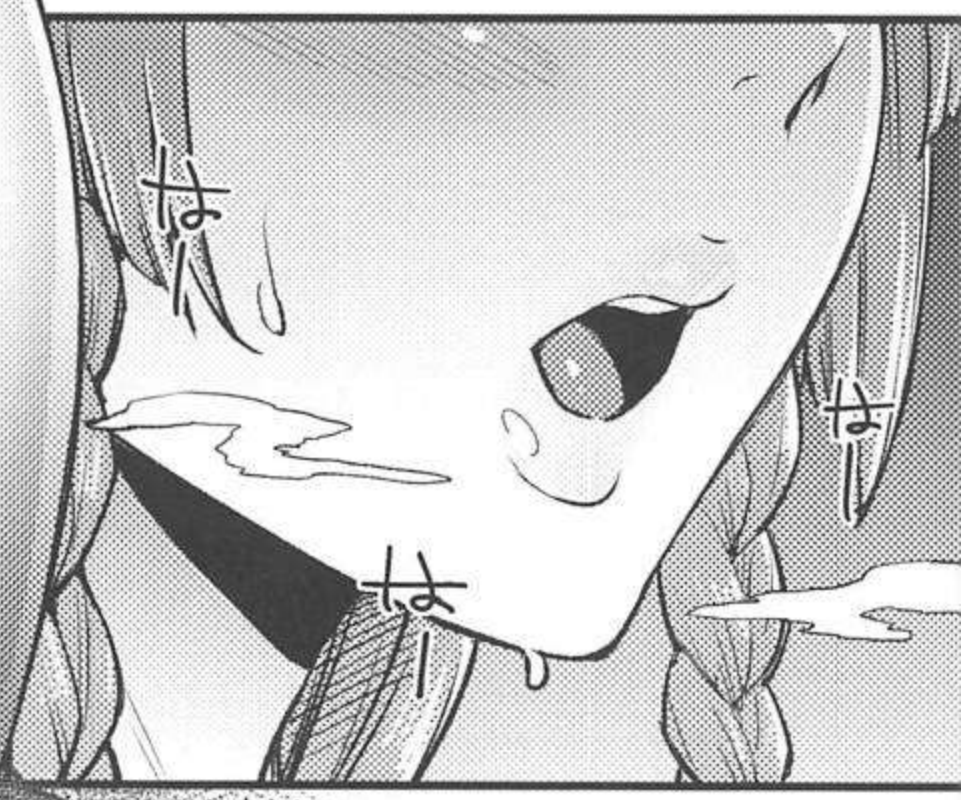


そう今までが
おかしかったんだ

あんなの僕なんかには
勿体無さすぎる



これで普通の
状態にもど

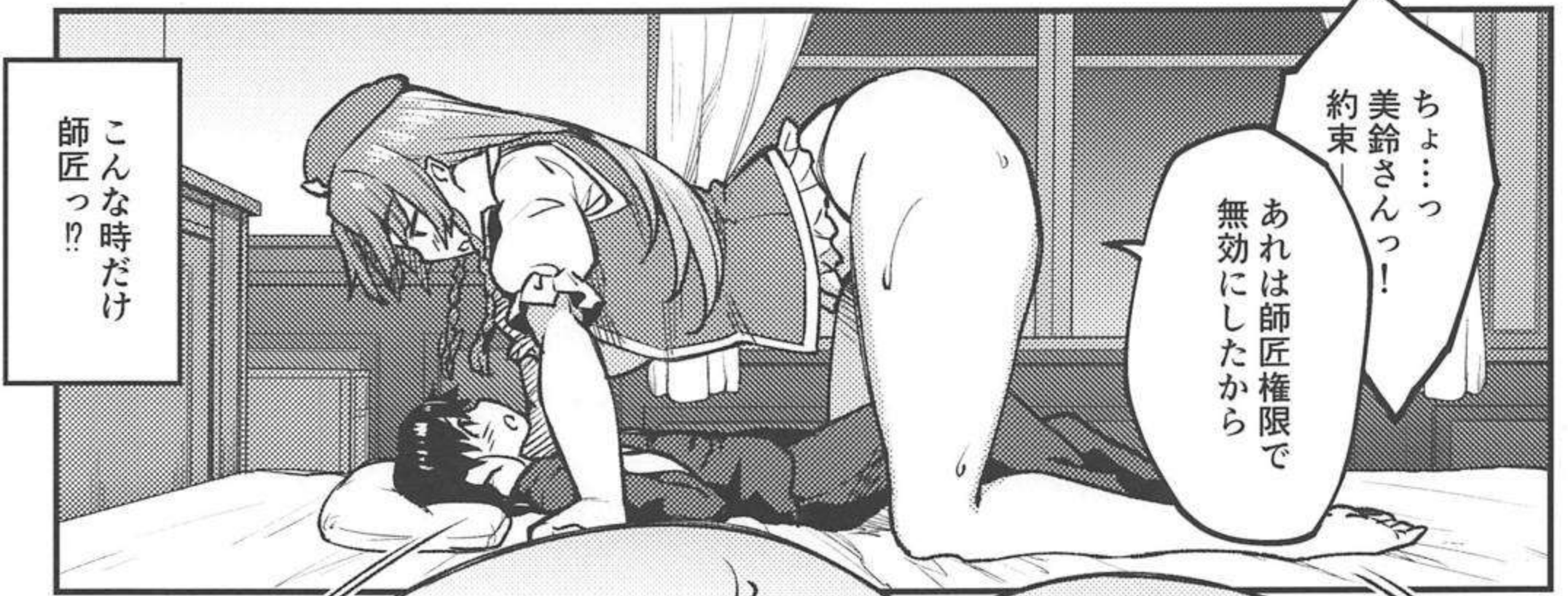




もう無理

これ以上我慢したら
頭おかしくなる

んんっ



ちよ...っ
美鈴さんっ!
約束!

あれは師匠権限で
無効にしたから

こんな時だけ
師匠っ?!



そんな...っ
せっかく居眠りしなく
なったのに...
これじゃ
また—

それはただ悶々として
目がさえてただけだから
外だからオナニーして
発散することもできないし

どうやら逆効果
だったらしい



今日は朝まで
するから



コレえ♥
私専用の
シヨタちゃんぽ♥

君のちんぽ
久々すぎて

挿入れただけで
イっちゃった♡

君のちんぽも
久し振りにおまんこ
出来て悦んでる♡

そ…っ
そんなこと…っ

ウソついても
ダメだから

君のちんぽの事は
私が一番よく
知ってるんだから♡

今まで
できなかつた分

いっっぱい
シよ♡



あっ♡

それから僕のちんちんは
ずっと美鈴さんのおまんこに
入ったままだった



精液♡子宮に
掛かっている♡



やん♡

美鈴さんっ

美鈴さんっ





美鈴さんのおまんこは
際限なく気持ちよくな
っていき

また
出ちゃうっ

美鈴さんのおまんこで
イっちゃうっ

気付けば僕は美鈴さんの
ナカに突き入れる事しか
考えられなくなっていた



おまんこ

おまんこ

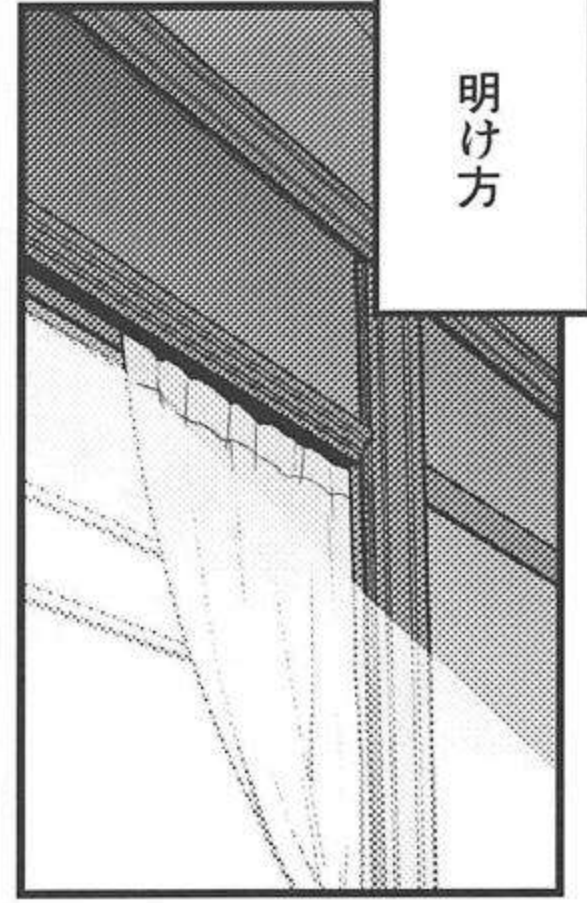
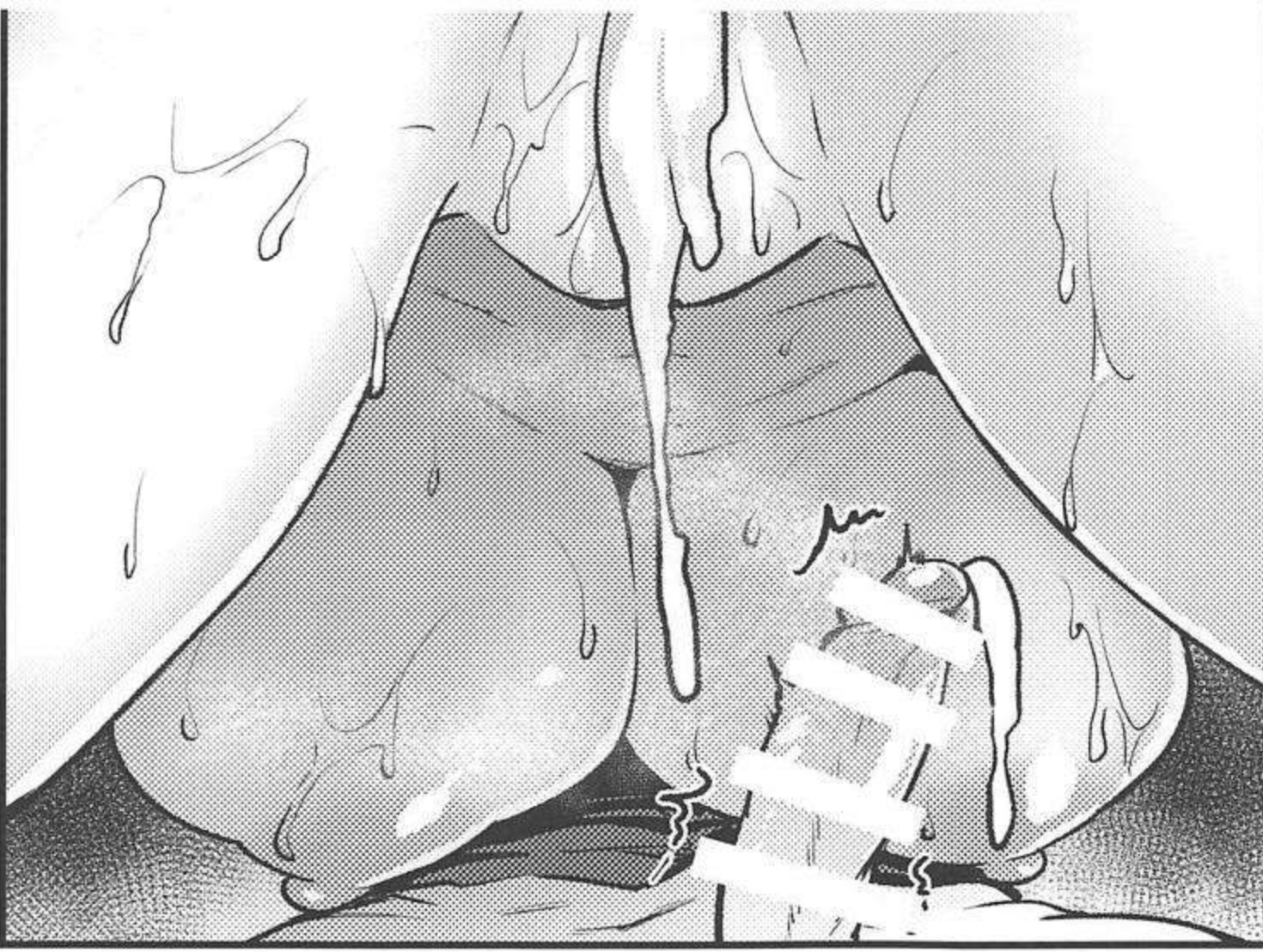
おまんこ

おまんこ





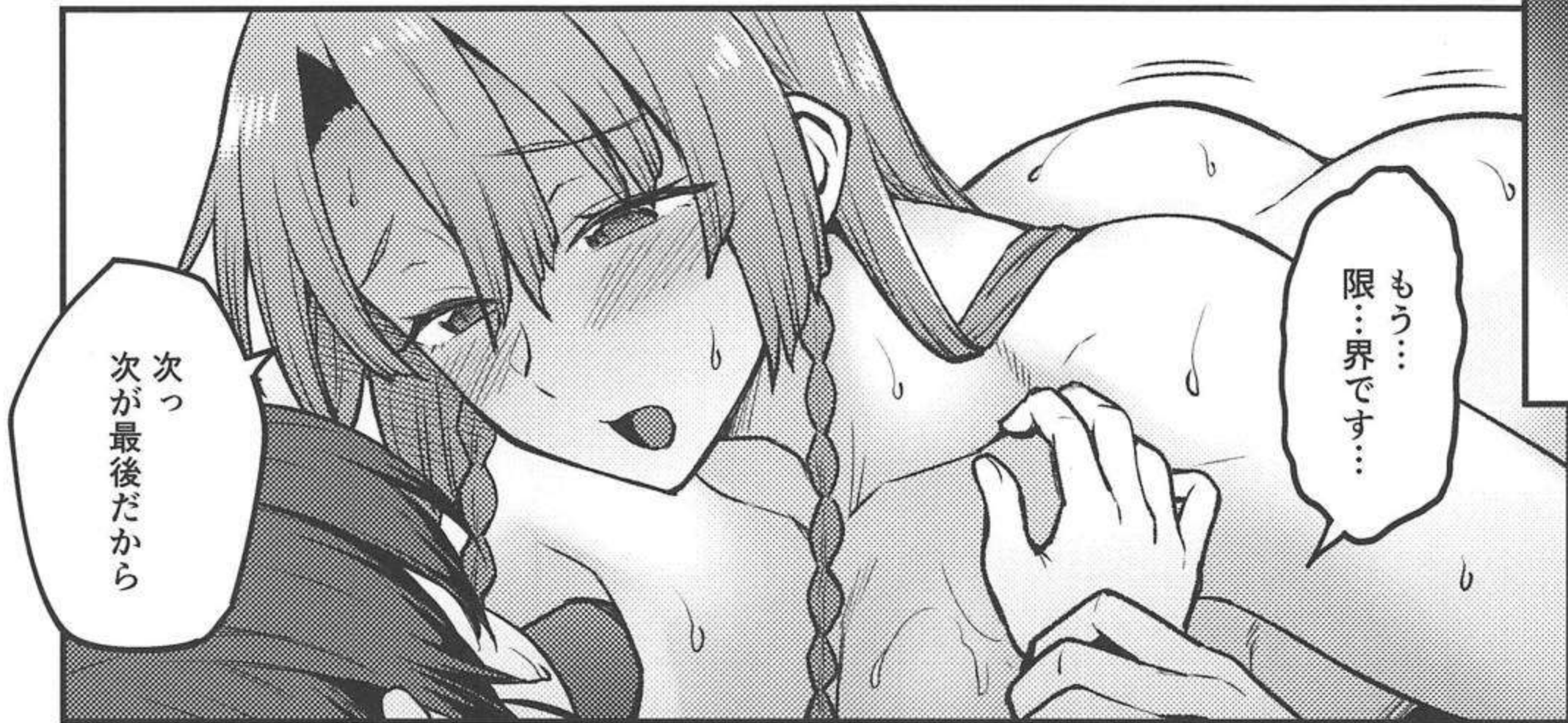
明け方



この言葉を何度
聞いただろうか

日が昇っても
一向に終わる
気配がない

あとどれだけ最後が
続くのだろうか



もう…
限…界です…

次っ
次が最後だから



ってあれ？

まだまだ師匠には
追いつけなさそうです

■奥付■

原作 東方Project / 上海アリス幻楽団

発行 広十練習帖 / 広弥

<https://www.pixiv.net/member.php?id=238117>

<https://twitter.com/hiroya1610>

<http://hiroju.blog95.fc2.com/>

発行日 2019/10/6

印刷 ねこのしっぽ様

※18歳未満の閲覧、購入禁止 複製、無断転載禁止

